

広報

はちおうじの教育

1.15

2018(平成30年)
No.93

～あふれる元気 かがやく心 仲間とともに はばたけ未来へ～

心を豊かに育て



第八小学校で5・6年生を対象に行ったチェロの演奏体験。子どもたちは、はじめてチェロにふれ、演奏の難しさや音の奥深さを味わいながら一音一音を奏でていました。小・中学校では、さまざまな体験活動を通して、子どもたちの心を豊かに育てています。

八王子市の電話相談

保護者の皆さん

総合教育相談室 ☎ 664・6949

小・中学生の皆さん

こども電話相談 ☎ 664・3665

いじめに関すること

いじめ相談 ☎ 620・7499

受付時間 月～金曜日(祝・休日を除く)午前8時30分～午後5時

24時間東京都いじめ相談ホットライン

☎ 0120・53・8288

24時間子供SOSダイヤル

☎ 0120・0・78310

なやみ言おう

メロディーが聞こえたら
子どもたちの見守りにご協力を

子どもたちの下校を見守るきっかけづくりとして、松任谷由美さんの「守ってあげたい」を午後2時に防災行政無線で放送しています。

小・中学校では知識の習得だけでなく、実践的な体験を通して、より深く理解し、生活に活かしていく力を育成しています。小学3年生の国語の時間には、身近な食材の一つである「大豆」を題材に学習しています。昔から大豆が味噌や豆腐などの食品に活用されていることについて、教科書の文章から読み取り、知識を得ます。



大豆をぎゅっと搾って豆乳に（船田小学校）

船田小学校では、この教科学習に関連させ、総合的な学習の時間に大豆から豆腐づくりを実践。大豆を搾った汁を煮立たせ、にがりを入れ、徐々に固まって豆腐になっていくようすを観察しました。児童たちは「どうして大豆が豆腐になるのか不思議だったけど実践してわかった」「この方法を最初に発見した昔の人はすごいね」などと話し、豆腐づくりを通して、教科書で得た知識を実感しながら定着させ、理解を深めました。

学ぼう！

できた！

体験活動は、子どもたちの成長の糧となり生識を働かせ、実践してよりよい生活を創ります。

科学習にさまざまな体験活動を取り入れ、見し解決する能力の育成や、何かを成し遂感させ、社会に貢献する精神などを養って



地域に貢献して

城山中学校では地域の清掃ボランティア体験を通して、社会に貢献する精神を育むとともに、地域への愛着心を培います。

・7403、☎627・8811)へ

アスリートから学んで



座った姿勢でシュートに挑戦（東浅川小学校）

スポーツへの関心を深めるだけでなく、夢や目標をもち、努力をすることや困難に立ち向かうことの大切さを伝えるため、小・中学校ではトップアスリートとの交流授業を行っています。

第二中学校では、元バレーボール選手の大林素子さんを迎え、アスリートのプレーを直接体験する授業を実施。けがを防ぐために効果的な準備運動の方法や、的確なトスやレシーブ技術について指導を受けました。また、大林さんがスパイクを実演。迫力あるプレーを目の前で体感した生徒たちからは、歓声がわき起こりました。

東浅川小学校で実施した車いすバスケットボールの体験授業では、競技用の車いすに乗り、シュートに挑戦。パラリンピアンから、夢との出会いや困難な状況にどのように立ち向かってきたのかなどについて



アスリートのプレーを間近で（第二中学校）

郷土の伝統文化を学ぶことは郷土愛を育むとともに、これからの国際社会を生きていくために必要な学習です。小・中学校では、地域の伝統文化への理解を深め、その魅力やよさを発信できる力を育むため、多摩織などの伝統工芸や、特色ある地域の伝統芸能について学んでいます。

緑が丘小学校では、八王子車人形の操作を体験。八王子車人形は江戸時代に考案され、車輪の付いた「ろくろ車」にまたがり、人形を操作し演じる、八王子が誇る伝統芸能です。子どもたちは身近なところに伝統芸能があることを知り、ふれることで興味や愛着がわきます。

海外でも多数の公演を行う指導者の西川古柳さんは「日本の文化だけでなく、外国の文化も知り、互いに認め合うことが大切。この経験をきっかけに世界へ目を向け、さまざまな文化にも興味をもってほしい」と話しました。



伝統の多摩織にふれて (第二小学校)



はじめての車人形にドキドキ (緑が丘小学校)



体験して

実際に見たり聞いたり行ったりする体験する力を育む基礎となります。思考や知識を出していくためには、体験活動が必要です。市立小・中学校では、行事や日頃の教養豊かな人間性を育むとともに、問題を発掘したり、達成したりすることの喜びを実感します。

問い合わせ 学校教育政策課 (☎620)

食の大切さを感じて

大和田小学校では、野菜づくり体験を通して、農業への理解を深めるとともに食の大切さを学び、生産者への感謝の気持ちを育てています。



自分の将来を考えて

小・中学校では社会の一員としての自覚をもち、学ぶことや働くことの意義を理解し、自分の進路を主体的に選択する意欲や態度を育成するため、職場体験活動を実施しています。

第七中学校では、2年生が地域の商店や福祉施設などでさまざまな職業を体験しています。生花店では花の陳列や接客、店内の清掃、花束づくりなどに取り組みました。接客では、大きな声で明るくあいさつをすることの大切さを実感しました。また、花束づくりでは美しく見える色の合わせ方や、華やかなりボンの結び方などの秘訣をお店の人に教わりながら完成させ、達成感を味わいました。生徒たちは「フラワーデザインの仕事は優雅なイメージだったけれど、実際は力仕事や水仕事もあった、とても大変だった」「お店の人に仕事のやりがいや、この仕事を選んだ理由について聞き、自分の将来を考えるよい機会になった」と話しました。



色の組み合わせを工夫して (第七中学校)

おおるり展を開催

子どもたちの作品を一堂に

1月18日から市立小中学校合同作品展「おおるり展」を開催します。市立小・中学校の児童・生徒が、図画工作や美術・家庭科、書写で制作した作品を一堂に展示します。

色彩豊かに描かれた絵画や木工作品など、子どもたちの感性豊かな作品が勢ぞろい。ぜひ、ご覧ください。

日時 1月18～22日の午前10時～午後8時(22日は3時30分まで)
会場 エスフォルタアリーナ八王子



感性豊かな作品が勢ぞろい

問い合わせ 指導課 ☎620・7405、FAX 627・8811

市制100周年記念事業 「ブランドフィナーレ」を開催

中学生が舞台演出などを担当

市制100周年を記念し、開催してきた8つのビジョンフォーラム。その後となる「子どもミライフォーラム」と、市制100周年記念事業を締めくくる「ブランドフィナーレ」を開催します。

ブランドフィナーレのテーマは「伝えよう！未来を担うはちおうじっ子へ」これまでとこれからの八王子。子どもたちが未来への提言を発表するほか、合唱やダンスなどを披露します。

また、当日の司会や舞台演出、会場運営などを中学生が担当。八王子の未来を担う子どもたちが、ブランドフィナーレを演出します。ぜひ、ご来場ください。

日時 2月4日(日)午後1～4時
会場 いちようホール
定員 800名(先着順)



文化芸術フォーラムで中学生が意見を発表

問い合わせ 指導課 ☎620・7405、FAX 627・8811

教育委員会の動き

5回の会議を開催

平成29年10月から12月まで定例会を5回開催しました。主な内容をお知らせします。

【議案】
○八王子市立いずみの森小中学校への義務教育学校制度の導入について

【協議事項】
○姫木平自然の家の運営について

【報告事項】
○東京八王子トレインズとの連携協力に関する協定の締結について

○「読書ノート」の活用について
定例会は、公開しています。傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。また、定例会の内容や開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

今後の定例会開催日程(予定)

日時	会場
1月27日(土) 午後2時～	教育センター
2月14日(水) 午前9時30分～	市役所本庁舎
2月28日(水) 午前9時30分～	

問い合わせ 教育総務課 ☎620・7323、FAX 627・8811

災害に備えて

防災用具の準備を

小・中学校では、災害時に子どもたちが自らの身を守るものとして、防災頭巾を常備しておく防災用具としています。新学期や新入学の機会にあわせて、各ご家庭で準備をお願いします。

なお、中学生は、小学校で使用していた防災頭巾を引き続き使用します。また、中学校によってはヘルメットを選択することもできます。選択の可否については、各学校へお問い合わせを。

問い合わせ 学校教育政策課 ☎620・7403、FAX 627・8811

学校紹介ラジオ番組

「はちスクプロフ」
(はちおうじスクールプロフィール)

放送時間：平成30年2～3月の月～金曜日
午後4時～4時55分

放送局：八王子エフエム(77.5MHz)

主な内容：児童・生徒が自分たちの学校のようすなどを紹介

番組スケジュールは、市のホームページをご覧ください。

「はちおうじっ子ホームページ」で子ども向けに情報を発信しています。



こちらからご利用を

